



国際交流ひろば

2

月号

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 241/February 2021

令和2年度 災害時における外国人支援講座「災害時における外国人への情報伝達訓練」

災害時に情報を伝える 2021年2月27日(土) 13:30 - 16:20

現在、鹿児島県には県下全域にわたって12,000人を超える外国人が暮らしています。

もし大きな災害が発生したら、あなたのまちに住む外国人にどうやって大切な情報を伝えますか？

今回、避難所等で素早い情報伝達に活かせる「やさしい日本語」の役割と作り方、さらに、幅広い情報を伝えるための多言語化の心得、コツなど、実践的な講座を行います。

講師 高木 和彦 氏 (特活)多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事

滋賀県庁土木交通部住宅課参事。平成20年に自治体国際化協会の災害多言語支援センター設置運営マニュアルの策定に参加。新潟中越沖地震、東日本大震災、東北・関東豪雨災害、熊本地震等で外国人被災者支援活動を行う。

災害

やさしい
にほんご

多言語

当日はマスクの着用、受付での検温・手指消毒にご協力をお願いします。なお、感染症拡大状況によっては、講座開催方法や内に変更が生じる場合があります。

- 会場 かがしま県民交流センター 東棟3階 大研修室2
 - 対象 語学ボランティア、外国人支援に関心のある方、担い手となる外国人、災害時に支援を行う自治体職員、国際交流協会職員、社会福祉協議会職員、その他関係機関職員
 - 定員 30名(要申込・先着順) ●参加費 無料
- 興味のある方、参加を希望される方は、当協会へお問い合わせください。
TEL : 099-221-6620 FAX : 099-221-6643 E-mail : kia10@kiaweb.or.jp

鹿児島島の在住外国人がつくる母国の家庭料理 動画公開!!

当協会の新たな試みとして、鹿児島県にお住いの外国の方に協力をいただき、鹿児島で調達できる食材を使い、各国の家庭料理を作っていました。韓国のチヂミ、イギリスのアップルクランブルとモルドワイン、ハンガリーのグヤーシュスープで、それぞれの作り方を動画で紹介します。動画の中には文化紹介もありますので、あわせてご覧ください。【動画はコチラから】



●当協会のホームページやFacebookでは、イベント情報や新型コロナウイルス緊急情報などを掲載しております。●

おやっとなさあ！国際交流員です！

キム ヒョジン（韓国出身）

昨年11月1日に、「韓国全羅北道文化講座」が開かれました。これは、「鹿児島・全羅北道文化交流事業」の一環として、鹿児島県国際交流協会と全羅北道国際交流センターが主催となり、隔年で交互に実施する文化講座のことをいいます。

第1回目となる今回の講座は、当初、全羅北道から講師をお迎えし、伝統工芸をはじめとする全羅北道の文化について紹介していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による影響で、本県への渡航が難しい状況にあるという結論にいたり、協議を重ね、Zoom（Web会議サービス）を利用した講座の開催となりました。

鹿児島県と全羅北道は、平成元年に「友好協力の推進に関する共同宣言」に調印してから約30年間にわたり、行政間の交流をはじめ、青少年交流、文化・スポーツ交流などを推進してきました。

全羅北道は、韓国南西部に位置し、首都ソウルからKTX（韓国高速鉄道）で約1時間の距離にあります。かつて、後期百済王朝がここに都をおき、また、朝鮮王朝の発祥の地でもあるため、歴史的遺産が多いです。現在、5つのユネスコ世界遺産が登録されています。そして、ここ全羅北道は、「韓国の中の韓国」、「食の都」と呼ばれます。その名声に相応しく、韓国で最も韓国らしい文化を保全し、豊かな食文化を誇ります。

今回の講座は、「韓国全羅北道の紹介」と「韓国の伝統的な紙、韓紙を使ったトレイづくり」の順に行われました。第1部の韓国全羅北道の紹介では、Zoomを利用し、現地から全羅北道の自然や文化、観光スポット、食などについて紹介していただきました。



千年の歴史を持つ韓紙を使った「韓紙トレイ」

続いて、第2部のワークショップでは、韓国の伝統的な紙である韓紙を使い、トレイを作りました。作業は、事前に全羅北道から撮影していただいたビデオを参加者の方に見ていただき、作り方を確認していただきながら60分間で行われました。作業中にはわからないことがあるとZoomを利用し、お互いの顔を見ながらコミュニケーションをとりました。

新型コロナウイルス感染症により、我々の生活は以前とは異なるものとなっています。その中で、我々は冷静さを保ちつつ、コロナ時代の新しいライフスタイルに対応するため、色々と工夫しています。文化講座も、このような面で有意義な交流の場だったと思います。

コロナ禍でまだ先の見えない状況が続いています。我々は、今後も急激な変化を受けるかもしれませんが、しかし、戸惑う時こそ、柔軟に対応していくと、きっと乗り越えられると思います。

来年は鹿児島から全羅北道を訪問し、鹿児島の文化について紹介させていただく予定ですが、次回の講座は無事に対面式で開催することができ、お互いの文化等を理解しあえれば嬉しいです！

JICA 広報誌

「mundi」

のご紹介♪

『mundi』（ムンディ）はラテン語で「世界」。本誌は、開発途上国の現状や、現場で活躍する人々の姿を紹介する月刊の JICA 広報誌です。毎月様々なテーマを取り上げ、JICA の国内外での事業紹介や最新のイベント情報をお伝えしています。



1月のテーマは「教育」

日本と世界の教育の今について、書かれています！
「教育格差」「インクルーシブ教育」「開発教育」
などなど気になるキーワード満載です！ぜひ、ご一読ください！

国際交流プラザ内にて、
閲覧できます！

これまでの「mundi」をチェックしたい場合は、

QRコードからダウンロードできます！



JICA デスク鹿児島では、皆様が思い描く「国際協力」を形にすべく、様々な形でお手伝いさせていただきます！

「学校で国際協力/海外について教えたい」「青年海外協力隊の話が聞きたい・なるためには？」
「最近よく聞く SDGs ってなに？」「海外への事業展開を考えている」など、何でも大歓迎です！お気軽にお問合せください。

◆民間国際交流活動助成金交付上期申請受付開始◆

(公財)鹿児島県国際交流協会では、県内に在籍する民間団体が実施する国際交流・国際協力・国際理解活動に対し、旅費を除く交流に係る直接経費の2分の1以内(但し、上限あり)を助成する支援事業を行っています。

現在、令和3年度上期(2021年4月~2021年9月)実施事業を対象に申請を受け付け中。

申請受付は、2021年1月4日(月)~2021年2月28日(日)

■営利を目的とする事業は、対象にはなりません。

■ホームページで、助成金の交付対象となる団体や事業についてご案内しています。

<https://www.kiaweb.or.jp/2019/05/post-4.html>

【問合せ先】(公財)鹿児島県国際交流協会(担当:大井)

TEL:099-221-6620 FAX:099-221-6643 E-mail:kia11@kiaweb.or.jp

がいこくじんそうごうそうだんまどぐち

外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語: 日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語など20か国語

鹿児島県国際交流協会内

TEL: 070-7662-4541

E-mail: kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜~日曜 9:00~17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードください。